

自己評価報告書(最終報告)

コース等名

生活・健康系コース(家庭)

記載責任者

渡邊 廣二

■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

Ⅰ. 学長の定める重点目標

Ⅰ-1. 教員養成の質保証

大学の機能別分化・機能強化が求められる中、本学は教員養成大学として高度専門職業人としての教員を養成することを目標としている。教員養成の質保証のため、専攻・コースではどのような取り組みを行うか、具体的な方策を示してほしい。

1. 目標・計画

- ①全学共通目標である4領域12区分の資質能力習得を、家庭コースにおいても目標とする。提出された学修キャリアノート参照しながら学生の資質能力の習得状況について意見を交換し必要に応じて指導を行う。
- ②学生が専門職業人としての教員を志向できるよう、全教員は授業とゼミ指導等を通してキャリア教育を行う。
- ③クラス担任と卒業研究指導教員を中心に学習・生活相談を通して学生の教員志向を高める。
- ④教員採用試験に向けて教科専門・論作文・面接等の対策指導を行う。

2. 点検・評価

- ①4領域12区分の資質能力習得を教員全員の認識として共有した。なお、学生の資質能力の習得状況についてはクラス担任を中心に点検し、1人ひとりに応じた指導を行った。
- ②学生が専門職業人としての教員を志向できるよう、全教員は授業とゼミ指導等を通してキャリア教育を行った。
- ③クラス担任と卒業研究指導教員を中心に学習・生活相談を通して学生の教員志向を高めた。
- ④教員採用試験に向けて教科専門・論作文・面接等の対策指導を行った。その結果、学部卒業生8名(うち正規7名)と院生1名(正規)が教員として採用された。なお、学部卒業生1名は本学大学院に進学した。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- ①「人間と自然との共生」および「女性と男性との共生」を基本理念に掲げ、生活諸分野に関する専門的知識を習得させるとともに、教育実践力のある家庭科教員を養成する。
- ②卒業研究及び課題研究の指導に当たっては学部生・院生の希望を尊重する。
- ③学部生・院生の生活指導はコース教員全員の協力体制のもとに行う。

2. 点検・評価

- ①教員全員が基本理念を共通の認識とするとともに、教育実践コア科目を通して専門知識と教育実践力の習得を図った。
- ②学部生・院生の希望に即した研究指導を行うことにより、全員が卒業論文・修士論文を書き上げることができた。
- ③3年次の10月から休学している1名の学生がいるが、休学を決める際にはコースの教員が協力して援助し、本人の納得が得られている。

Ⅱ-2. 研究

1. 目標・計画

- ①外部資金を獲得するために積極的に応募する。
- ②全員が代表者として、科学研究費補助金の申請を行う。
- ③科学研究費のコース内採択率を25%以上にする。

2. 点検・評価

- ①日本学術振興会特別研究員に1名が応募したが、残念ながら不採択であった。
- ②4名(うち1名は継続)の教員が申請した。
- ③科研費の採択は延4名(うち継続2名, 分担1名)で、採択率は57%であった。なお、厚生科研に1名(分担)が採択された。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

- ①学内の各種委員会に出席し職務を遂行する。
- ②コース会議, 部会議, および教授会における意見交換を通して大学運営に積極的に関わる。

2. 点検・評価

- ①学内の各種委員会には出席するとともに、コース会議をはじめとする各種会議を通して大学運営に貢献した。
- ②長期履修学生支援センターの一員として長期履修学生の支援を行った。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ①LFタイムに参加する。
- ②附属学校で開催される各種研究会に参加し指導助言を行う。
- ③公開講座を毎年1講座以上開設する。
- ④徳島県の教員10年次研修を引き受ける。
- ⑤免許状更新講習を引き受ける。
- ⑥教育支援アドバイザー講師を引き受ける。
- ⑦留学生や外国人研究者を受け入れる。

2. 点検・評価

- ①LFタイムの講師を引き受けた。
- ②小・中附属学校の各種研究会に参加し指導助言を行った。
- ③1講座を開設した。
- ④教員10年次研修を引き受けた。
- ⑤免許状更新講習を二講習4名で開設した。
- ⑥延6件(3名)の教育支援アドバイザー講師を引き受けた。
- ⑦2名のタイ出身(シーナカリンウィロート大学)私費外国人留学生を受け入れた。さらに、1名の教員が外国人留学生研修プログラムに協力した。
- ⑧徳島県からの依頼により2名の教員が審議会委員を務めた。
- ⑨協定大学である京仁教育大学校および附属小学校を5名の教員が訪問し、授業を参観し研究交流を行った。
- ⑩社会連携活動として、松茂町において講演を行った。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

- ①1名の教員が連合大学院の合資格教員として認定された。
- ②長期履修学生支援センターの一員として長期履修学生の支援を行った。